

令和6年度
地域循環共生圏づくり支援体制構築事業
キックオフミーティング 資料

活動団体の活動におけるテーマ

ゼロカーボン・ローカルSDGsに関するPF形成

活動団体の活動地域：滋賀県湖北地域

活動団体名：ともすラボ

中間支援主体名：エネシフ湖北

活動団体と地域の紹介（1）



再エネ供給エリア



エネルギー需要エリア

森林・田園区域

農業の盛んな地域と市の北部に広がる豊かな自然資源・生態系が展開される地域



産業・集積区域

生産工場が集積した地域



商業・観光区域

観光・商業を中心とした経済活動の集積地域

中心市街地・居住区域

住宅地が広がり、かつ日常的な商業機能なども点在する地域

活動団体と地域の紹介（2）

活動団体:ともすラボ:

エネシフ湖北と連携し、ゼロカーボン・エネルギーシフト・地域循環共生圏に関する取組を行う団体。特定のプロジェクトや事業を実施していくに当たり、プラットフォーム形成を行う。

○ 脱炭素 × 断熱 × 教育

○ 脱炭素 × 交通

○ 脱炭素 × 小水力 × 地域の合意形成

○ 脱炭素 × 祭り ……

※ 脱炭素と関連する事業やプロジェクトを実施する主体の発掘や組織化の支援も行っていきたい。



活動計画（概要）

地域循環共生圏の構築を通じてありたい地域の姿

- ・脱炭素やローカルSDGsに関するビジネスや活動が次々と生まれるような地域
- ・活動している主体同士が緩やかに繋がっている状態
- ・地域外のリソースを地域内がうまく活用し、連携できている状態

地域に必要なプラットフォームの体制や仕組み

- ・主体同士のつながりが創出される場
- ・ビジネス化に繋げる場・仕組
- ・資金や人材がまわる仕組
- ・地域内外の人材が挑戦できる場
- ・多くの関わり口
- ・官民(学校・金融)の連携

ローカルSDGs事業として取り組む内容

- ・断熱×教育
- ・地域の資源で地域のお祭りを灯す
- ・地域交通をアップデート
- ・地域経済循環を可視化
- ・再エネ開発の地域のコーディネート
- ・地域全体で各自の動きを共有する場

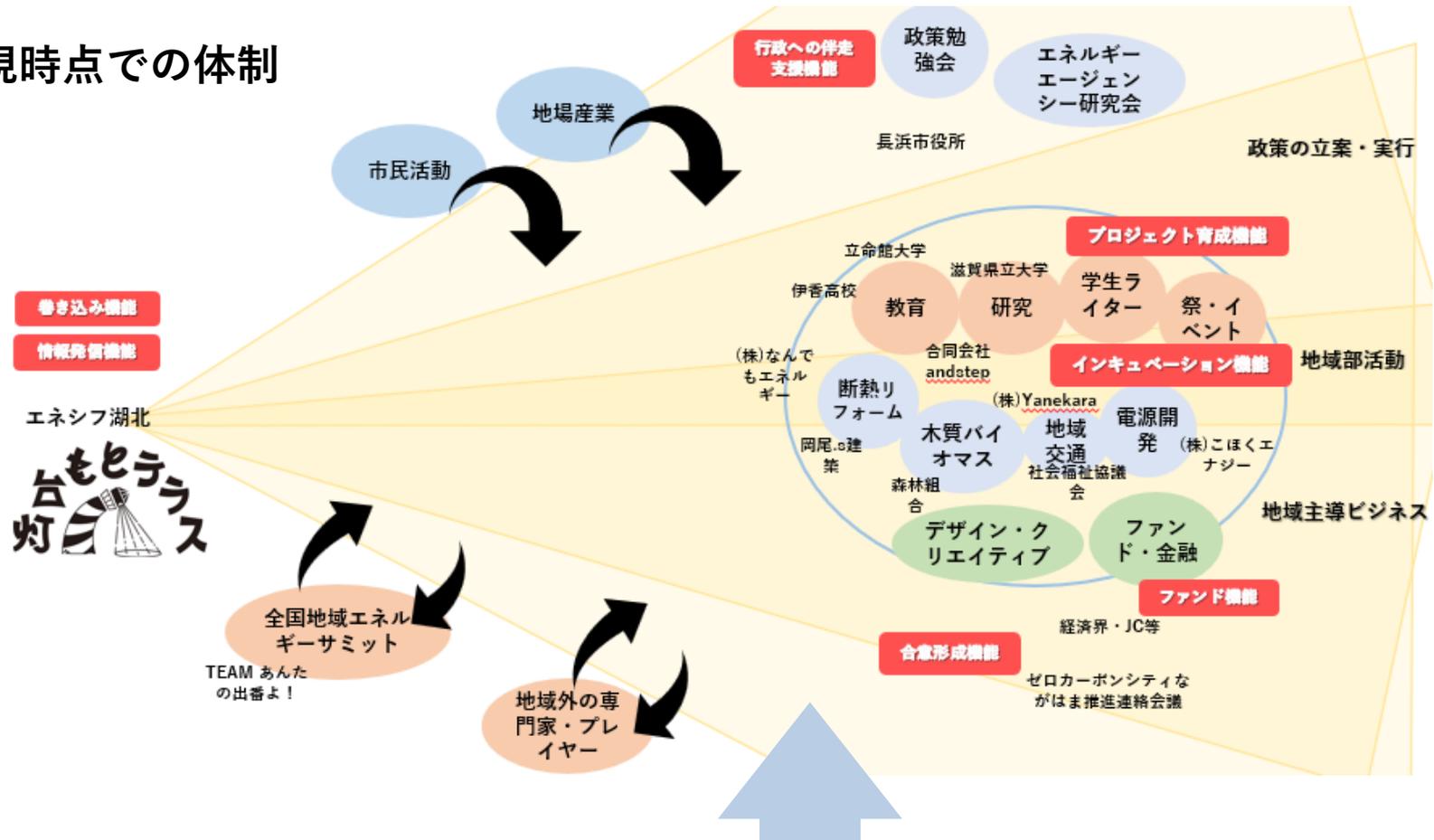


地域の現状

- ・脱炭素やローカルSDGsに関して多くの主体が活動している状況。
- ・事業のタネやプレイヤー候補が多く存在。

目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

現時点での体制



【課題感（必要なこと）】

- ・長浜、湖北、滋賀県にはピースはかなり既にある！
- ・コーディネーターの組織化
- ・コーディネーターのマネタイズ
- ・資金集め、投資の仕組み

ローカルSDGs事業の詳細

地域プラットフォーム（PF内のメンバーやコアメンバー）で生み出そうとしているローカルSDGs事業の詳細

エネシフ湖北に関連する事業のタネとその担い手



3か年状態目標

2026年度末の状態目標

- ・脱炭素×〇〇のプロジェクトや事業が次々と生み出される仕組みが構築される。
- ・地域課題を解決するような事業が生まれる。
- ・既存の産業のトランジションが起こり始める。
- ・湖北地域全体に、この動きが連動していく。

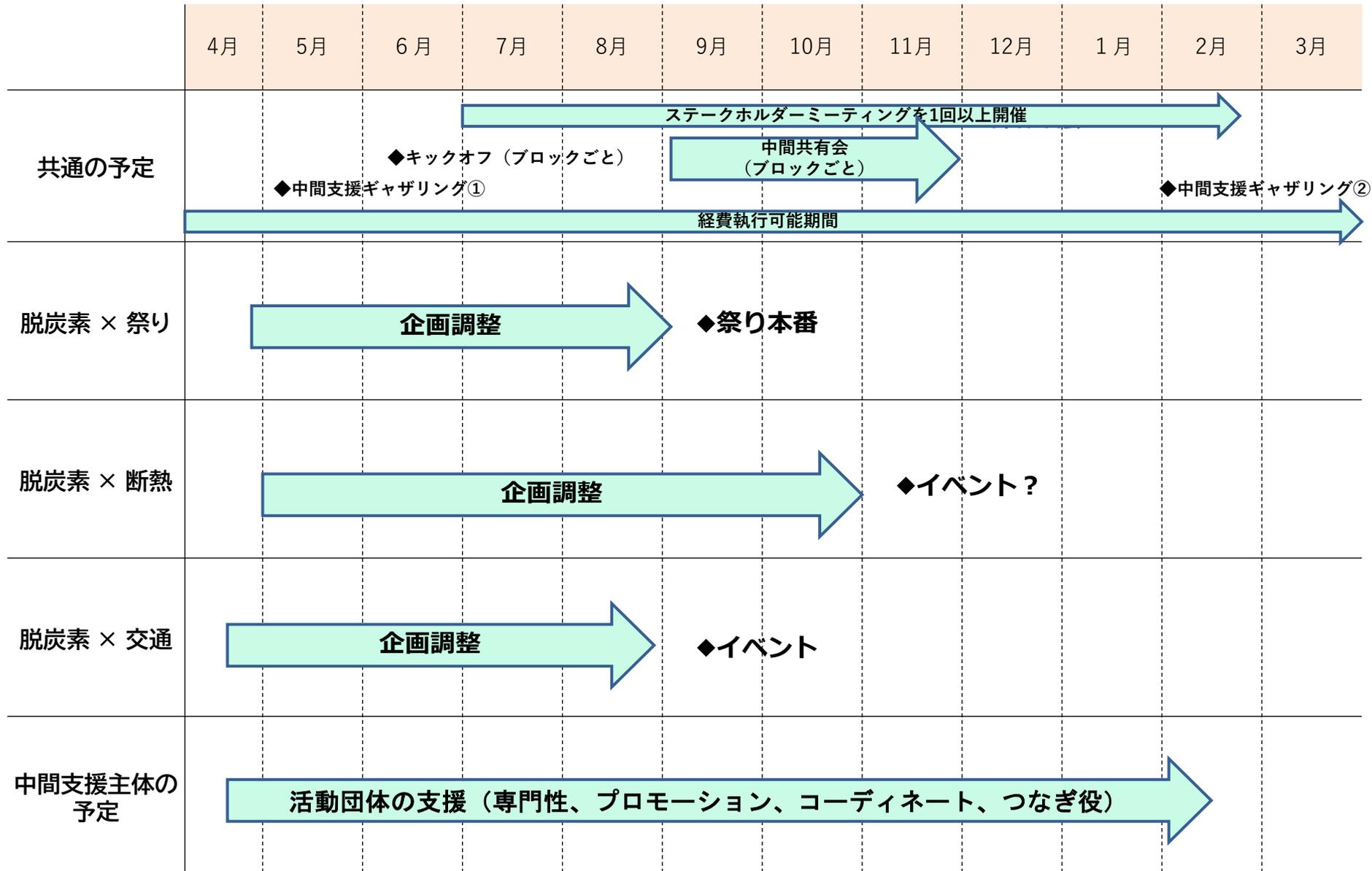
2025年度末の状態目標

- ・一定の組織体制や役割分担が見える中で、実績を積み上げていく

2024年度末の状態目標

- ・長浜や湖北での中間支援組織の在り方や役割分担に関して一定の方向性が見出せる
⇒エネルギーエージェンシー、エネシフ湖北、ともすラボ等の役割の整理
- ・「これこそ長浜・湖北の目指すゼロカーボンの事業、プロジェクトだ」という事例をつくる
- ・コアな担い手の顔ぶれが見えてくる(従来のエネシフ湖北の3人以外)

活動計画



中間支援主体より

中間支援主体:エネシフ湖北:

滋賀県湖北地域において、地域住民が主導し、地域を元気に、暮らしの質を向上させることに繋がる、ゼロカーボン・エネルギーシフト・地域循環共生圏に関する取組を実施する団体。

情報発信



プラットフォーム形成



コーディネート



活動団体の取組へのコメント、中間支援の方針・計画

エネシフ湖北としては、主に、以下の役割を担う。

- ① 専門的なアドバイス
- ② コーディネート
- ③ プロモーション
- ④ つなぎ役、ネットワーキング